

## ぶらっと山歩（さんぽ）

～ 一目惚れし、足蹴く通った堂満岳へ ～

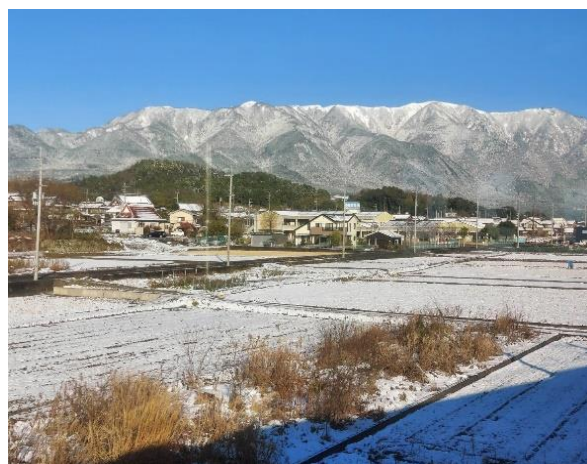
写真と文 吉野 宏

もう 60 年近くも前になるだろうか、正月の休みを利用し、友人 2 人と鈍行列車の旅に出た時のこと。京都から山科を出てトンネルを抜けると琵琶湖の玄関口大津に入る。何となく対岸の雪を被った山の連なりを眺めていたが、守山あたりまで来るとその美しさに引き込まれている自分がいた。米原に行くまでの車窓からは、どんどんと白さを増していくその連山に見入ってしまい、友人の話かけも上の空！・・湖西側にある山系に近づくには、浜大津から出ている江若鉄道に乗車し入山したい山に最も近い駅で降る！・・と調べ、その月の終わりの休日にいてもたってもおれなくなり一人で出かけた。それがその後の比良山地に入る第一歩となったのである。



歌川広重 作/比良の暮雪（ネット画像より写）

ところがその 2 年後（昭和 44 年）の秋、江若鉄道が 48 年余りの操業に終止符を打ち、廃止となってしまった。JR 湖西線が山科から江若鉄道の終点であった近江今津までの間を開通させたのは、それから 5 年後（昭和 49 年）の夏頃であった。その間に雪の武奈ヶ岳や蓬萊山、釈迦岳などよく登ったが、冬以外の季節がいつだったか記憶にないし、又、どんな交通手段で行ったのかも思い出せぬ。



雪をまとった比良山地（2022・1・2）

私がヒヨコに入会したのは、たしか湖西線が開通する 2 年前だったと記憶しているが定かではない。入会して 1 年も経たぬうち、布引支部の先輩達（当時本格的な山をやる会員は布引で私より 20 歳前後年上の 6～7 名のみの会員）に連れまわされ？・・いや付いていくようになり、山のノウハウを自然に教わった・・と、これだけは鮮明に記憶している。



この程度の積雪が一番楽しいね！！

湖西線が開通して半年後の 2 月、布引の強者先輩達と雪の比良山地で幕営する機会に恵まれ参加した。正面谷を詰め、金糞峠から奥ノ



深谷に入り、口ノ深谷で幕営。翌朝行動食だけ担いでわさび峠經由西南稜から武奈山頂へ。引き返し、幕営撤収後、登りコースを下山、その日の遅くに帰神。こんなことを毎冬コースを変えてやっていたのを懐かしく思う。



昔はもっともっと積雪量があったよ～！

そんな比良山地の中で山らしい山・アルペンの雰囲気を持つ山と言え、何といても堂満岳であろう。ここも2月の厳冬期、積雪量がかなりある堂満東稜尾根から直接堂満の頂上へ、ワカンを駆使し、喘ぎ喘ぎ苦勞して登った。頂上から東レ新道へ下り、金糞峠へ廻るころにはヘトヘトで、雪明かりを頼りに尻セードで正面谷をすべるように下り、湖西線の車両内では爆睡状態。～何でこんなしんどいことまでして来なあかんねん！？～と、その都度同じことを思ったものだ。



見事に咲いていた堂満のシャクナゲ（本年4月）

こんなイヤーな思いしかなかった冬の堂満岳を一変し、改め惚れ直したのが5月の連休も終わる間際の1日、静かな堂満を楽しもうとして来た時に巡り合った見事なシャクナゲの群生であった。山に登っても未知のコースやグレード、岩や沢の難度ばかりが気になって、花や草には全く興味を持つことのない自分であったし、冬から覚めた比良もえーで！！と聞いたこともなかったので、山頂から東レ新道に咲き誇っていたシャクナゲに、ポーとして見とれていたことを鮮明に思い出す・・・。



色の濃淡も美しい堂満のシャクナゲ（本年4月）

本文の冒頭に載せさせていただいた江戸時代の浮世絵師・歌川広重の描いた近江八景の一つ「比良の暮雪」風景は、湖東側から眺めたものであり、真ん中に頭を出しているのは正しく堂満岳であろう！！僕が初めて目にした真っ白な比良山地の姿は昔から感動の風景として残されていたそのものだったのだ！

そして、冬の終わりを告げる「比良八荒（琵琶湖の西岸、志賀の手前から近江舞子あたりの間の、比良山地から吹き降ろす強風（比良おろし）のこと」。比良の荒れじまいとは良く言ったものだと感じる。

半年間、湖西の山々でジッと冬を耐えていたシャクナゲは、時代が変わろうとも、春に再び訪れる岳人を優しく迎えてくれるすばらしい永久の恋人であることに間違いはない！！



正月 2 日に青春 18 切符のお世話になり、一人比良の山々を眺めに行くようになって 30 年余りになる。自身では～1 年間の仕事の癒しに！～との思いの「ぶらっと山歩」ではあったのだが、今思えば頭の片隅にあのシャクナゲの濃淡に染められたピンクの色が焼付き消え去ることが無かったからだろう。わざわざ冬の比良に出向くのは、そんなシャクナゲを想うがあまり、まずは雪の白さを目に入れておこうとの思いからだったのだろうか？



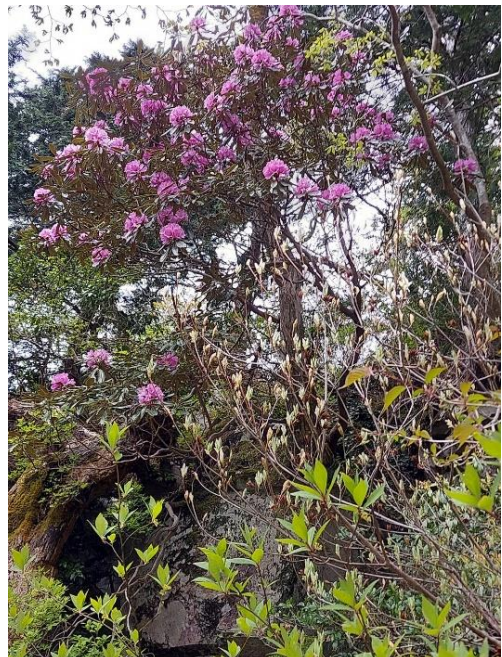
淡く美しい堂満のシャクナゲ (本年 4 月)



.....

兵庫県山岳連盟でお付き合いのある S 観光会社の登山企画に～ふるさと兵庫 100 山～行きが有り、その登山ガイドとして長年一緒させていただいているが、県外登山の組入れ企画で「シャクナゲ咲く堂満岳へ」を提案したのが 4 年前。是非お願いします！と大変な人気を得、日程迄決定していたが、その年の暮れからコロナが始まり、翌年から丸 3 年間中止の連続で有った。今年の 4 月末、念願叶な

ってやっとご案内する機会を得た。詳細は控え、見事に咲いていた写真のみ掲載させてもらったが、参加された 30 数名の方々はご満足されて比良山地を後にされた。



遠い昔から比べるとかなり背丈が伸びました！

先に記載したが、JR 湖西線が開通したのは昭和 49 年夏、思えば小生 30 の歳であった。来年は開通 50 周年という節目の年になる。・・・ということで小生は傘寿を迎える。はたして幾つの歳まで堂満岳の恋人に逢いに行くことが出来るのだろうか！

合掌

同時期に咲いている・・・



・・・可愛いイワウチワの花 (本年 4 月)